横河電機株式会社 YOK_LSIO_JA_37 3/2024

パソコンリンク SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	12
3	通信設定例	13
4	設定項目	72
5	結線図	77
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

表示器と横河電機(株)製接続機器を接続する場合のシステム構成を示します。

重要• CPU 直結とパソコンリンクモジュールを使用して、同時に2台以上の表示器を接続 することはできません。

 パススルー機能は表示器を CPU 上の Programming ポートに接続している場合のみ 使用できます。

1.1 CPU 直結

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
FA-M3	F3SP08-0P F3SP21-0N F3SP25-2N F3SP28-3N F3SP35-5N F3SP38-6N F3SP53-4H F3SP58-6H F3SP28-3S F3SP58-6S F3SP53-4S F3SP58-6S F3SP59-7S	CPU 上の Programming ポート	RS232C	設定例 1 (13 ページ)	結線図 1 (77 ページ)
	F3SP22-0S	CPU 上の Programming ポート	RS232C	設定例 29 (70 ページ)	結線図 1 (77 ページ)
	F3SP66-4S F3SP67-6S	CPU 上の SIO ポート	RS232C	設定例 20 (51 ページ)	結線図 9 (145 ペー ジ)
FCN	NFCP100-S00	CPU 上のシリアルポート	RS232C	設定例 21 (53 ページ)	結線図 10 (146 ペー ジ)
FCJ	NFJT100-S100	CONTROL UNIT 上の シリアルポート	RS232C	設定例 21 (53 ページ)	結線図 10 (146 ペー ジ)

1.2 パソコンリンクモジュール

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	F3SP08-0P F3SP20-0N F3SP21-0N	F3LC11-1N、F3LC11-1F、 F3LC12-1F 上の RS232C ポー ト	RS232C	設定例 4 (19 ページ)	結線図 3 (88 ページ)
	F3SP25-2N F3SP28-3N F3SP30-0N	E21 C11 2N E21 C11 2E + 0	RS422/485 (4 線式)	設定例 3 (17 ページ)	結線図 2 (79 ページ)
	F3SP35-5N F3SP36-3N F3SP38-6N F3SP53-4H F3SP58-6H F3SP28-3S F3SP38-6S F3SP53-4S F3SP53-4S F3SP58-6S F3SP59-7S F3SP66-4S F3SP66-4S F3SP67-6S	F3LC11-2N、F3LC11-2F 上の RS422/485(4Wire) ポート	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 22 (56 ページ)	結線図 11 (148 ペー ジ)
FA-M3		F3LC11-2N、F3LC11-2F上の RS422/485(2Wire) ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 2 (15 ページ)	結線図 4 (90 ページ)
	F3SP22-0S F3SP71-4N F3SP76-7N F3SP71-4S F3SP76-7S	F3LC11-1F、F3LC12-1F上の RS232C ポート	RS232C	設定例 4 (19 ページ)	結線図 3 (88 ページ)
		F3LC11-2F 上の RS422/ 485(4Wire) ポート	RS422/485 (4 線式)	設定例 3 (17 ページ)	結線図 2 (79 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 22 (56 ページ)	結線図 11 (148 ペー ジ)
		F3LC11-2F 上の RS422/ 485(2Wire) ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 2 (15 ページ)	結線図 4 (90 ページ)

1.3 M&C コントローラ

シリーズ	CPU ^{*1}	リンク I/F	通信方式	通信設定	結線図
	UT130-□□/RS	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 5 (21 ページ)	結線図 5 (103 ページ)
	UT150-□□/RS	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 6 (23 ページ)	結線図 5 (103 ページ)
温度調節計 (UT100 シリーズ)	UT152-□□/RS	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 7 (25 ページ)	結線図 5 (103 ページ)
	UT155-□□/RS	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 8 (27 ページ)	結線図 5 (103 ページ)
	UP150-□□/RS	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (2 線式)	設定例 9 (29 ページ)	結線図 5 (103 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 10 (31 ページ)	結線図 6 (116 ページ)
	UT320-□1	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 23 (58 ページ)	結線図 12 (156 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 11 (33 ページ)	結線図 7 (124 ページ)
	UT350-□1	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 12 (35 ページ)	結線図 6 (116 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 24 (60 ページ)	結線図 12 (156 ページ)
ディジタル			RS422/485 (2 線式)	設定例 13 (37 ページ)	結線図 7 (124 ページ)
指示調節計		コントローラ上の 端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 14 (39 ページ)	結線図 6 (116 ページ)
	UT420-□7		RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 25 (62 ページ)	結線図 12 (156 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 15 (41 ページ)	結線図 7 (124 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 16 (43 ページ)	結線図 6 (116 ページ)
	UT450-□1 UT450-□2	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 26 (64 ページ)	結線図 12 (156 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 17 (45 ページ)	結線図 7 (124 ページ)

次のページに続きます。

シリーズ	CPU ^{*1}	リンク I/F	通信方式	通信設定	結線図
	UT2400-□	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 18 (47 ページ)	結線図 8 (137 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 27 (66 ページ)	結線図 12 (156 ページ)
012000	UT2800-□	コントローラ上の 端子台	RS422/485 (4 線式)	設定例 19 (49 ページ)	結線図 8 (137 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 28 (68 ページ)	結線図 12 (156 ページ)

*1 接続機器の機種番号"□"は各接続機器の仕様によって異なります。

■ 接続構成

1:1 接続



- MEMO
 1:n 接続の場合、本ドライバでサポートする FA-M3 または M&C コントローラ (PA 機器)を 16 台まで接続することができます。
 - シーケンス制御が必要ない場合、M&C コントローラのみでシステムを構成することができます。
- n:1 接続(マルチリンク接続)



MEMO

FACTORY ACE シリーズのみ使用できます。

• 最大接続台数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台 までの接続を推奨します。 • n:m 接続(マルチリンク接続)



最大接続台数: 表示器1台につき16台

- MEMO ・最大接続台数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台 までの接続を推奨します。
 - M&C コントローラをマルチリンクのネットワーク内に含めることは可能ですが、 通信情報を格納する接続機器として使用することはできません。
- マルチ CPU



 FACTORY ACE シリーズのみ使用できます。
 CPU の号機番号は電源モジュール側から1号機、2号機、3号機、4号機と割り付けられています。
 マルチ CPU では直接接続していない CPU ヘアクセスすることができます。 マルチ CPU に使用できる接続機器については接続機器のマニュアルを参照してください。

■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S.11-7	使用可能ポート				
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)		
PS-2000B	COM1 ^{*1} 、COM2、 COM3 ^{*1} 、COM4	-	-		
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}		
PS-3650A(T41 機種)、 PS-3651A(T41 機種)	COM1 ^{*1}	-	-		
PS-3650A(T42 機種)、 PS-3651A(T42 機種)	COM1 ^{*1*2} , COM2	COM1 ^{*1*2}	COM1 ^{*1*2}		
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ^{*1} , COM2 ^{*1} , COM3 ^{*2} , COM4	COM3 ^{*2}	COM3 ^{*2}		
PS-3711A	COM1 ^{*1} 、COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}		
PS4000 ^{*3}	COM1、COM2	-	-		
PL3000	COM1 ^{*1*2} , COM2 ^{*1} , COM3, COM4	COM1*1*2	COM1*1*2		
PE-4000B Atom N270	COM1, COM2	-	-		
PE-4000B Atom N2600	COM1, COM2	COM3 ^{*4} 、COM4 ^{*4} 、 COM5 ^{*4} 、COM6 ^{*4}	COM3 ^{*4} 、COM4 ^{*4} 、 COM5 ^{*4} 、COM6 ^{*4}		
PS5000 (スリムパネルタ イプ Core i3 モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}		
PS5000(スリムパネルタ イプ Atom モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}		
PS5000(耐環境パネルタ イプ) ^{*8}	COM1	-	-		
PS5000 (モジュラータイ プ PFXPU/PFXPP)*5*6 PS5000 (モジュラータイ プ PFXPL2B5-6)	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}		
PS5000 (モジュラータイ プ PFXPL2B1-4)	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}		
PS6000(アドバンスド ボックス) PS6000(スタンダード ボックス)	COM1 ^{*9}	*10	*10		
PS6000(ベーシックボッ クス)	COM1 ^{*9}	COM1 ^{*9}	COM1 ^{*9}		

*1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

*2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

- *3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C のみ サポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないでくだ さい。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。
- *4 通信方式を BIOS で設定する必要があります。BIOS の詳細は IPC のマニュアルを参照してくだ さい。
- *5 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールと接続機器を通信させる場合、IPC(RS-232C) または PS5000(RS-422/485)の結線図を使用してください。ただし PFXZPBMPR42P2 をフロー制御なしの RS-422/485(4 線式)として使用する場合は 7.RTS+ と 8.CTS+、6.RTS- と 9.CTS- を接続してください。 接続機器との接続でRS-422/485 通信を使用するときには通信速度を落として送信ウェイトを増
 - やすことが必要な場合があります。
- *6 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールで RS-422/485 通信を使用するにはディップス イッチの設定が必要です。サポート専用サイトの「よくある質問」(FAQ) を参照してください。 (http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html)

項目	FAQ ID
PFXZPBMPR42P2のRS422/485切り替え方法	FA263858
PFXZPBMPR42P2の終端抵抗設定	FA263974
PFXZPBMPR44P2のRS422/485切り替え方法	FA264087
PFXZPBMPR44P2の終端抵抗設定	FA264088

- *7 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。ディップスイッチの詳細は IPC のマニュアルを参照してください。 ボックス Atom には RS-232C、RS-422/485 モードを設定するスイッチがありません。通信方式は BIOS で設定してください。
- *8 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、表示器側のコネクタを M12 A コード8 ピン(ソ ケット)に読み替えてください。ピン配列は結線図に記載している内容と同じです。M12 A コー ドのコネクタには PFXZPSCNM122 を使用してください。
- *9 本体上の COM1 以外に、オプションインターフェイス上の COM ポートを使用することもできます。
- *10 拡張スロットにオプションインターフェイスを取り付ける必要があります。

ディップスイッチの設定 (PL3000/PS3000 シリーズ)

RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF ^{*1}	予約(常時 OFF)	
2	OFF	通信士士 . DS 2220	
3	OFF	通信方式:RS-232C	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
9	OFF	DC(DTC) 白動判御エー ド・毎劫	
10	OFF	RS(RTS) 目動制御モード: 無効	

*1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。

RS-422/485(4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信卡式·BS 422/485	
3	ON	地向万式、KS-422/405	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡:しない	
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード: 無効	
10	OFF		

RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信士士·BS 422/495	
3	ON	通信万式, KS-422/485	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード : 常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)と RDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	RS(RTS) 自動制御モード: 有効	
10	ON		

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

💰 ようこそ GP-Pro EX へ			×
GP-Pro 🛃	一接続機器設定 接続機器数		
		接続機器1	
	メーカー	横河電機(株)	•
	シリーズ	パソコンリンク SIO	-
	ポート	СОМ1	_
		この接続機器のマニュアルを見る	
		最近使った接続機器	
	4		×
	<u>□ 927419</u> 1	アを使用する	機器接続マニュアルへ
		戻る(日) 通信設定	ベース画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1~4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「横河電機(株)」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「パソコンリン ク SIO」を選択します。 「パソコンリンク SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
システムエリアを使用	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方 式専用エリア)」
する	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「システム設定 [本体設定] - [システ ムエリア設定] の設定ガイド」
	参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「本体設定 - システムエリア設定」

3 通信設定例

(株)デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 • RS232C · RS422/485(2線式) · RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔽	
データ長 〇 7	
パリティ 💿 なし 🔿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし @ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 <u>…</u> (ms)	
□ サムチェック 	
▶ 終端文字	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソルージョンフニッ	
トを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No. 機器名 設定	間接機器
1 PLC1 シリーズ=FACTORY ACEシリーズ号機No.=1	

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	○ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計
コントローラモデル	UT320
号機 No.	
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

ラダーツールの[プロジェクト]メニューから[コンフィギュレーション]を実行し、下記のように設 定します。ラダーツールの詳細に関しては接続機器メーカーのマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定
伝送速度	19200
データ長	8(固定)
パリティ	無し
ストップビット	1(固定)
チェックサム	無し
終端文字	有り
プロテクト	無し

3.2 設定例 2

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 横河電機	(株)	シリーズ 🛛	ペソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	RS422/485(2)	線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	•		
データ長	0.7	8		
パリティ	⊙ なし	○ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	6) 🔿 XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔆	(sec)		
リトライ	2 -			
送信ウェイト	0 🔅	(ms)		
「拡張モード				
🗖 サムチェック				
▶ 終端文字				
RI / VCC	© RI	O VCC		
RS232Cの場合、 にするかち避けの	9番ピンをRI(入力) きます。 デジタル 制	にするか VCC (5 V電)	原供給)	
トを使用する場合	it、VCCを選択し	てください。	初期設定	: [
機器別設定				
接続可能台数	16台 機器	<u>器を追加</u>		
1. 報理之	=			間接機器
	設定		11. 7"	追加
PLCI	1205	X=FACTORY ACES	/リース,写1版100.=1	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
	© м&С⊒У№—Э
シリーズを変更した: アドレスを再確認し	場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 🔹
コントローラモデル	UT320
	1 =
与1版110.) •n#85%co
	OK(<u>O</u>) キャンセル

コンピュータリンクモジュールを下記のように設定します。詳細に関しては接続機器メーカーのマ ニュアルをご参照ください。

◆伝送速度設定スイッチ

設定項目	設定
伝送速度	19200

◆ データ形式設定スイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW1	ON	データ長
SW2	OFF	パリティビット
SW3	OFF	_
SW4	OFF	ストップビット
SW5	OFF	チェックサム
SW6	ON	終端文字
SW7	OFF	プロテクト
SW8	OFF	常に OFF

◆ ステーション番号設定スイッチ

設定項目	設定
号機 No.	1 号機
MEMO ・ 接続の終端になるモジュールのみ終端抵抗スイッチを 2-WIRE に設定します。そ;	

以外は OFF にします。

3.3 設定例 3

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485位線式) © RS422/48	5(4線式)
通信速度 19200 🔽	
データ長 〇 7 💿 8	
パリティ 🔍 なし 🔿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし © ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
IJト ラ イ 2 <u>÷</u>	
送信ウェイト 0 🕂 (ms)	
拡張モード	
 サムチェック 	
▶ 終端文字	
RI/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかち避視できます。長端かり使用S232Cアイバル・ジョンフェッ	
トを使用する場合は、VOOを選択してください。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
	間接機器
	道加
	\$

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
	С м&С⊐У№−5
シリーズを変更した アドレスを再確認し	場合は、すでに使用されている てください。
コントローンタイン	「アインダル村宮示調風即計
	101020
号機 No.	1 🗄
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

コンピュータリンクモジュールを下記のように設定します。詳細に関しては接続機器メーカーのマ ニュアルをご参照ください。

◆伝送速度設定スイッチ

設定項目	設定
伝送速度	19200

◆ データ形式設定スイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW1	ON	データ長
SW2	OFF	パリティビット
SW3	OFF	_
SW4	OFF	ストップビット
SW5	OFF	チェックサム
SW6	ON	終端文字
SW7	OFF	プロテクト
SW8	OFF	常に OFF

◆ ステーション番号設定スイッチ

	設定項目	設定
号機 No.		1 号機
МЕМО	 接続の終端になるモジ 	ュールのみ終端抵抗スイッチを 4-WIRE に設定します。それ

以外は OFF にします。

3.4 設定例 4

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C	
通信速度 19200 🔽	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ	
ストップビット 💽 1 🔿 2	
フロー制御 C なし © ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 💼 (ms)	
₩ 終端文子	
RI/VCC CRI OVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。初期設定	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
■ 1 PLC1 IFACTORY ACEシリーズ、号機No.=1	4

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	○ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 👤
コントローラモデル	UT320
号機No.	1
	初期設定
	OK(()) キャンセル

コンピュータリンクモジュールを下記のように設定します。詳細に関しては接続機器メーカーのマ ニュアルをご参照ください。

◆伝送速度設定スイッチ

設定項目	設定
伝送速度	19200

◆ データ形式設定スイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW1	ON	データ長
SW2	OFF	パリティビット
SW3	OFF	_
SW4	OFF	ストップビット
SW5	OFF	チェックサム
SW6	ON	終端文字
SW7	OFF	プロテクト
SW8	OFF	常に OFF

3.5 設定例 5

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 <u>接続機器変更</u> メーカー 横河電振(体) シリーズ パゾコンリンク SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ長 C 7 C 8 パロティ C なし C 奈林
メーカー横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 C RS232C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ・ データ長 C 7 C 8 パロティ C なり、 C 奈称
文字列データモード 1 変更 通信設定 通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ・ データ長 C 7 C 8 パロティ C なし C 奈林
通信設定 通信方式 C RS232C ● RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ長 C 7 ● 8 パリティ C なし ● (単数 C 奈教
通信方式 C RS232C © RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式) 通信速度 9600 ▼ データ長 C 7 © 8
通信速度 9600 データ長 C 7 C 8 パロティ C なし、 C 理教 C 奈教
データ長 07 08
パティ ○ わ. ④ 俚数 ○ 空数
71551 6760 61484 6184
ストップビット 💿 1 🔿 2
フロー制御 C なし © ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
タイムアウト <u>3</u> (sec)
リトライ 2 🗄
送信ウェイト 0 📑 (ms)
「拡張モード」
▶ 終端文子
RI/VCC CRI CVCC
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVOCはV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションフェッ
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期服設定
機器別設定
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>
No. 機器名 設定 間接機器 ····································
20/01 ■ 1 PLC1 ■ 「 シリーズ=M&Cコントローラコントローラタイプ=温度調節! ④

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	◎ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	温度調節計 🔹
コントローラモデル	UT130 💌
号機No.	1 三
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- **3** SET/ENT キーを数回押して [LOC] を表示します。
- 4 [LOC] に「-1」を設定し、SET/ENT キーを押します。 [セットアップパラメータ設定表示]に移行します。
- 5 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 6 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- **7** SET/ENT キーを 3 秒以上押して [オペレーティング表示] に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
PSL	0: PC-link communication
Adr	1
bPS	9.6: 9600bps
PrI	Evn
StP	1
dLn	8

3.6 設定例 6

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコン	バンク SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C) C RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•		
データ長	0.7	8 8		
パリティ	○ なし	☞ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	0 🗧	(ms)		
「拡張モード」				
□ サムチェック				
▶ 終端文字				
RI / VCC	© RI	O VOC		
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力) 結す。デジタル製	にするかVCCにV電源供給 RS232Cアイソレーションフェ	i) '''	
下を使用する場合	は、VOCを選択し	てください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数	16台 機器	<u>器を追加</u>		
No 機器名	設定			間接機器
1 PLC1		ズ=M&Cコントローラ,コントロ	ーラタイプ=温度調節!	
	ALL IN THE REAL PROPERTY AND A			

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	X
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	 M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	温度調節計
コントローフモナル	
号機 No.	1 🖃
	初期設定
	OK(() キャンセル

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- **3** SET/ENT キーを数回押して [LOC] を表示します。
- 4 [LOC] に「-1」を設定し、SET/ENT キーを押します。 [セットアップパラメータ設定表示]に移行します。
- 5 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 6 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- **7** SET/ENT キーを 3 秒以上押して [オペレーティング表示] に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
PSL	0: PC-link communication
Adr	1
bPS	9.6: 9600bps
PrI	Evn
StP	1
dLn	8

3.7 設定例 7

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更		
通信設定			
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	9600	•	
データ長	C 7	· 8	
パリティ	○ なし	 儒数 奇数 	
ストップビット	€ 1	C 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔅	(sec)	
リトライ	2 :		
送信ウェイト	0 🔅	(ms)	
一拡張モードー			
□ サムチェック			
▼ 終端又子			
RI / VCC	🕼 RI	C VCC	
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力) ほす。デジタル製	にするかVCC(5V電源供給) RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合(ま、VCCを選択し	てください。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 1	6台 機器	<u>器を追加</u>	
No. 機器名	設定		間接機器 追加
🔏 1 PLC1		ズ=M&Cコントローラ,コントローラタイプ=温度調節詞	

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	C FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	温度調節計
コントローラモデル	UT152 💌
号機No.	「 1 <u> 一</u> 初期設定
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- **3** SET/ENT キーを数回押して [LOC] を表示します。
- 4 [LOC] に「-1」を設定し、SET/ENT キーを押します。 [セットアップパラメータ設定表示]に移行します。
- 5 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 6 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- **7** SET/ENT キーを 3 秒以上押して [オペレーティング表示] に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
PSL	0: PC-link communication
Adr	1
bPS	9.6: 9600bps
PrI	Evn
StP	1
dLn	8

3.8 設定例 8

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要 接続機器	<u>変更</u>
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO ポート COM1	_
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) O RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 <	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 〇 なし 💿 偶数 🛛 奇数	
ストップビット ● 1 ● 2	
フロー制御 C なし ⓒ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 <u>-</u> (ms)	
▶ 終端文子	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCCGV電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期服役定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
間接機器 No.機器名 設定 ietm	

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	◎ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	● M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	温度調節計 👤
コントローラモデル	UT155 💌
号機No.	1 初期設定
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- **3** SET/ENT キーを数回押して [LOC] を表示します。
- 4 [LOC] に「-1」を設定し、SET/ENT キーを押します。 [セットアップパラメータ設定表示]に移行します。
- 5 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 6 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- **7** SET/ENT キーを 3 秒以上押して [オペレーティング表示] に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
PSL	0: PC-link communication
Adr	1
bPS	9.6: 9600bps
PrI	Evn
StP	1
dLn	8

3.9 設定例 9

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリン	ク SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C @ RS422/485(2線式)	C RS422/485(4線式)
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 🗧	奇数
ストップピット ⊙ 1 ◯2	
フロー制御 🔿 なし 💿 ER(DTR/CTS) 🔿)	KON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 芸 (ms)	
拡張モード	
□ サムチェック 	
▼ 終端文字	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避視できます。デジカル制度S232Cアイバルージョンユニッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。	初期設定
機器別設定	J
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 1部界々 配守	間接機器
	x1 y = /m/galija/ie

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	X
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した: アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	温度調節計
コントローラモデル	UP150
号機No.	1
	OK((0) キャンセル

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- **3** SET/ENT キーを数回押して [LOC] を表示します。
- 4 [LOC] に「-1」を設定し、SET/ENT キーを押します。 [セットアップパラメータ設定表示]に移行します。
- 5 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 6 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- **7** SET/ENT キーを 3 秒以上押して [オペレーティング表示] に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
PSL	0: PC-link communication
Adr	1
bPS	9.6: 9600bps
PrI	Evn
StP	1
dLn	8

3.10 設定例 10

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	(元)
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 🖸 1 🔿 2	
フロー制御 C なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 0 🛨 (ms)	
拡張モード	
▶ 終端文字	
RI/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCCのV電源供給) にするかを確却できます。デジタル制用S232Cアイバルーションコニッ	
ドを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期	没定
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No 禅器名 翻定	間接機器
	追加
	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	X
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した: アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 💌
コントローラモデル	UT320 •
号機 No.	
	OK(() キャンセル

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。
- [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 4 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 5 SET/ENT キーを3秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
P.SL	0: PC link communication
bPS	4: 9600 (bps)
PrI	1: 偶数
StP	1
dLn	8
Adr	1

3.11 設定例 11

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコンリン	ゥ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1	<u>変更</u>		
通信設定			
通信方式 〇日	RS232C ④ RS422/485(2線式)	C RS422/485(4線式)	
通信速度 960)0 💌		
データ長 〇日	7 💿 8		
/(IJティ C)	なし 🔍 偶数 🔿 🖓	奇数	
ストップビット 🔍 1	C 2		
フロー制御 〇 1	ବ୍ଷା 💿 ER(DTR/CTS) 🔿 :	XON/XOFF	
タイムアウト 3	: (sec)		
リトライ 2			
送信ウェイト 0	: (ms)		
一拡張モード			
□ サムチェック 			
▼ 終端文字			
RI / VCC 💿 I	RI C VOC		
RS232Cの場合、9番ピン にするかを選択できます。	をRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) デジタル型RS232Cアイバルーションフェット		
ドを使用する場合は、VC	Cを選択してください。	初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	機器を追加		
No 继 界 之	設定		間接機器
	BALL - 7'= M&C - 1'/ K 5 - 1'/ K 5	カイプーディックルオ	通知
		212-212 XVII	*

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	X	
PLC1		
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ	
○ M&Cコントローラ シリーズを変更した場合は、すでに使用されている アドレスを再確認してください。		
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 👤	
コントローラモデル	UT320 💌	
号機 No.		
	<u>OK(Q)</u> キャンセル	

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。
- [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 4 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 5 SET/ENT キーを3秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
P.SL	0: PC link communication
bPS	4: 9600 (bps)
PrI	1: 偶数
StP	1
dLn	8
Adr	1

3.12 設定例 12

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) ジリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🗨	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし @ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 💼 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 🛨 (ms)	
RI/VCC © RI Ĉ VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) (こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VOOを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 機器を追加	
No. 機器名 設定	間接機器
■ 1 PLC1 III シリーズ=M&Cコントローラ、コントローラタイプ=ディジタル相	4

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 僧別機器設定	×	
PLC1		
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ	
○ M&Cコントローラ シリーズを変更した場合は、すでに使用されている アドレスを再確認してください。		
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 💽	
コントローラモデル	UT350	
号機No.	1 三 初期設定	
	OK((2) キャンセル	

◆ 注意事項

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。
- [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 4 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 5 SET/ENT キーを3秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

設定項目	設定値
P.SL	0: PC link communication
bPS	4: 9600 (bps)
PrI	1: 偶数
StP	1
dLn	8
Adr	1
3.13 設定例 13

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ	אַרועבעאָ sio אין
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C @ RS422/48	i(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 💿 8	
パリティ C なし 💿 偶数	C 奇数
ストップビット	
フロー制御 C なし O ER(DTR/C	TS) 🔿 XON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗮	
送信ウェイト 0 芸 (ms)	
「拡張モード	
□ サムチェック	
▶ 終端文字	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V%) にするかも避免できます。デジルル制度5222Cアイバルー	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
い。 撤盟々 三四二	間接機器

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した: アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 💌
コントローラモデル	UT350
号機No.	1
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

• 通信設定の[拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。
- [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 4 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 5 SET/ENT キーを3 秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

♦ 設定値

設定項目	設定値
P.SL	0: PC link communication
bPS	4: 9600 (bps)
PrI	1: 偶数
StP	1
dLn	8
Adr	1

3.14 設定例 14

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更		
通信設定		
通信方式 C RS232C	○ RS422/485位線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 9600	•	
データ長 〇 7	• 8	
パリティ 🔿 なし	 ・ ・ ・ ・	
ストップビット 💿 1	O 2	
フロー制御 🔿 なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 🛛 🚊	(sec)	
リトライ 2 🚊	3	
送信ウェイト 🛛 🚊] (ms)	
拡張モード		
□ サムチェック		
▶ 終端文字		
RI / VCC © RI	C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力) にするかた避視できます。デジカル制	DにするかVCCにV電源供給)	
トを使用する場合は、VCCを選択し	いてにたい。 初期設定	
機器別設定		
接続可能台数 16台 機	器を追加	
No 継舞を 聖学		間接機器
	-ブーM&Cコントローラコントローラタイプーディジタルゼ	
		S

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した: アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 💌
コントローラモデル	UT420 💌
号機No.	1
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

• 通信設定の[拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

2 [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。

[オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。

- 3 アップキーまたはダウンキーを数回押して [r485] を表示します。
- 4 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 5 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 6 SET/ENT キーを3秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

◆ 設定値

設定項目	設定値
PSL	0: PC link communication
bPS	9600
PrI	EVEN
StP	1
dLn	8
Adr	1
rP.t	0: 0 × 10ms

3.15 設定例 15

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク ?	SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485位線式) C	RS422/485(4線式)
通信速度 9600 🔽	
データ長 🔿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇勢	¢
ストップビット 💿 1 🔿 2	
フロー制御 C なし C ER(DTR/CTS) C XO	N/XOFF
タイムアウト <u>3</u> (sec)	
<u> ሀኑ</u> ታ	
送信ウェイト 🛛 🛨 (ms)	
「拡張モード」	
▶ 終端文子	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。	初期體分定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
■ 1 PLC1 Im シリーズ=M&Cコントローラコントローラタイ	プニディジタルオ 🚱
י אינב.ל-יםאנבטארם איניביא איני	7======29,04

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 倡別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 👤
コントローラモデル	UT420 💌
号機 No.	
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

• 通信設定の[拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

2 [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。

[オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。

- 3 アップキーまたはダウンキーを数回押して [r485] を表示します。
- 4 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 5 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 6 SET/ENT キーを 3 秒以上押して [オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

◆ 設定値

設定項目	設定値
PSL	0: PC link communication
bps	9600
Pri	EVEN
StP	1
dLn	8
Adr	1
rP.t	0: 0 × 10ms

3.16 設定例 16

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485位線式) © RS422/485(4	線式)
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし O ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
りトライ 2 <u>÷</u>	
送信ウェイト 0 📑 (ms)	
が現モード	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレージョンユニッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。	服定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 💌
コントローラモデル	UT450 💌
号機No.	1
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

• 通信設定の[拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

2 [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。

[オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。

- 3 アップキーまたはダウンキーを数回押して [r485] を表示します。
- 4 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 5 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 6 SET/ENT キーを3秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

◆ 設定値

設定項目	設定値
PSL	0: PC link communication
bPS	9600
PrI	EVEN
StP	1
dLn	8
Adr	1
rP.t	0: 0 × 10ms

3.17 設定例 17

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 横河電機(株) シリ	ーズ パソコンリンク SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C @ RS422	/485(2線式) C RS422/485(4線式)
通信速度 9600 💌	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🔿 なし 🔍 偶数	○ 奇数
ストップビット 💿 1 🔿 2	
フロー制御 C なし ④ ER(DT	R/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト 3 📩 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 0 🛨 (ms)	
「拡張モード」	
▶ 終端文子	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC・ にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソ	5V電源供給) レーションユニッ
トを使用する場合は、VOCを選択してください。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
1 PLC1 III シリーズ=M&Cコント(コーラ、コントローラタイプ=ディジタルオ

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	X
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 🔹
コントローラモデル	UT450 💌
号機No.	1 1
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

• 通信設定の[拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

2 [オペレーティング表示]で SET/ENT キーを 3 秒以上押します。

[オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。

- 3 アップキーまたはダウンキーを数回押して [r485] を表示します。
- 4 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 5 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 6 SET/ENT キーを 3 秒以上押して [オペレーティング表示] に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

◆ 設定値

設定項目	設定値
PSL	0: PC link communication
bps	9600
Pri	EVEN
StP	1
dLn	8
Adr	1
rP.t	0: 0 × 10ms

3.18 設定例 18

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート/COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式) C RS422	/485(4線式)
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ ○ なし ○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット	
フロー制御 C なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 0 芸 (ms)	
拡張モード	
 サムチェック 	
▶ 終端文字	
RI/VCC CRI CVCC	
RS2320の場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかち避視できます。 デジャル 劇(PS2320アス/10) - ジョン・フェッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。	初期設定
機器別設定	
11 4/699.25 EU	間接機器
	追加
	00,_].

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	UT2000 💌
コントローラモデル	UT2400
号機 No.	1 二
	OK(() キャンセル

◆ 注意事項

- 通信設定の[拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- 通信設定の[拡張モード]-[サムチェック]は必ずチェックを外してください。

接続機器の通信設定は調節計前面の通信モード選択用ディップスイッチ、通信条件設定用ロータリス イッチおよびステーション番号選択用ロータリスイッチで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 通信モード選択用ディップスイッチを「ON (パソコンリンク通信モード)」にします。

2 通信条件設定用ロータリスイッチを「2」に設定します。

3 ステーション番号選択用ロータリスイッチを「0」に設定します。

3.19 設定例 19

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリ	ンク SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式)	● RS422/485(4線式)
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿	奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし © ER(DTR/CTS) C	XON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
▶ 於靖又子	
RI/VCC © RI OVCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給) (こするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してくたさい。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器
1 PLC1 取りーズ=M&Cコントローラコントローラ	ラタイプ=UT2000,: 🔶

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	UT2000 💌
コントローラモデル	UT2800 💌
号機No.	1 三
	OK((0) キャンセル

◆ 注意事項

- 通信設定の [拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- 通信設定の[拡張モード]-[サムチェック]は必ずチェックを外してください。

接続機器の通信設定は調節計前面の通信モード選択用ディップスイッチ、通信条件設定用ロータリス イッチおよびステーション番号選択用ロータリスイッチで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 通信モード選択用ディップスイッチを「ON (パソコンリンク通信モード)」にします。

2 通信条件設定用ロータリスイッチを「2」に設定します。

3 ステーション番号選択用ロータリスイッチを「0」に設定します。

3.20 設定例 20

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 · RS232C · RS422/485(2線式) · RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 💿 なし 💿 偶数 💿 奇数	
ストップビット ・1 ・2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🗮 (sec)	
<u> ሀ</u> トライ 2 🚊	
送信ウェイト 🛛 🕂 (ms)	
- 拡張モード	
「 サムチェック	
▶ 終端文字	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするわた避視できます。デジャルをJPS222Cアインルージョンコニッ	
トを使用する場合は、VCOを選択してださい。 初期設定	1
	-
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
	間接機器
	追加
	\$

♦ 機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	○ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ コントローラモデル	ディジタル指示調節計 Image: Constraint Const
号機No.	■ 初期設定
	OK((2) キャンセル

接続機器の通信設定はラダーソフト (Wide Field2) で設定します。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 [新規作成]ダイアログボックスでラダープログラムを作成します。
- 3 [実行プログラム構成定義]ダイアログボックスでラダープログラムを挿入します。
- 4 ツリービューの[コンフィギュレーション]をダブルクリックし、[コンフィギレーション]ダイア ログボックスを表示します。
- 5 [通信設定]タブの[通信モード]で「19200bpsパリティなし」を選択します。
- 6 [通信設定]タブの[CPUパソコンリンク機能の設定]で「パソコンリンク機能を使用する」と「終端文字」にチェックを入れます。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 [オンライン]メニューから[接続]を選択し、通信設定を接続機器に転送します。 以上で通信設定は終了です。

3.21 設定例 21

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

概要 メーカー 横河電機(株) 文字列データモード 1 変更 マローズ 「パンコンリンク SIO ポート COM1 な字列データモード 1 変更
メーカー 横河電機(株) ジリーズ パソコンリンク SIO ポート COM1 文字列データモード 1 変更
文字列データモード 1 変更
通信設定
通信方式 ④ RS232C ④ RS422/485位線式) ⑤ RS422/485(4線式)
通信速度 19200 🔽
データ長 〇 7 ④ 8
パリティ
ストップビット 💿 1 💿 2
フロー制御 C なし C ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト 3 🔆 (sec)
<u> </u>
送信ウェイト 0 <u>;</u> (ms)
₩ 終端文字
RI / VCC C RI C VCC
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレージョンコニッ
ドを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定
機器別設定
接続可能台数 16台 機器を追加
No. 機器名 設定 間接機器 item
1 PLC1 III シリーズ=FACTORY ACEシリーズ号機No=1

♦ 機器設定

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	○ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計 👤
コントローラモデル	UT320
号機No.	1
	初期設定
	OK(()) キャンセル

通信設定は、ウェブブラウザおよびラダーソフト(Logic Designer)で行います。詳細は接続機器のマ ニュアルを参照してください。

◆手順

<シリアルポートの通信設定>

1 接続機器の IP アドレスを「192.168.1.1」に設定します。

MEMO• 接続機器の IP アドレスの設定方法は FCN/FCJ の基本設定用専用ツール (Resource Configurator) のオンラインヘルプを参照してください。

- **2** パソコンの Ethernet ポートと接続機器の Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。(HUB 経由 で接続します。)
- 3 ウェブブラウザを起動します。
- 4 アドレス入力ボックスに「http://192.168.1.1/mnt」を入力します。
- 5 表示されたダイアログボックスで [ユーザ名] と [パスワード] を入力して、ログインします。
- **6** [Maintenance Menu] をクリックし、[FCX Maintenance Menu] 画面を表示します。
- 7 [Reboot] をクリックし、[Reboot FCX] 画面を表示します。
- 8 [Reboot (Maintenance Mode)] にチェックを入れます。
- 9 [OK] をクリックし、[Reboot] 画面を表示します。
- 10 接続機器が再起動します。再起動の完了を確認します。
- 11 [Maintenance Homepage] をクリックし、[STARDOM FCX Maintenance Page] 画面を表示します。
- **12** [OK] をクリックし、[FCX Maintenance Menu] 画面を表示します。
- **13** [Edit] をクリックし、[Edit System Setting Files] 画面を表示します。
- 14 [COM1 Port Setting File] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。
- 15 設定項目を以下のように設定します。

設定項目	設定内容
Baudrate	19200
DataBitLength	8
StopBitLength	1
Parity	NONE

- 16 [OK] をクリックし、[Edit System Setting Files (RESULT)] 画面を表示します。
- **17** [Maintenance Menu] をクリックし、[FCX Maintenance Menu] 画面を表示します。
- 18 [Reboot] をクリックし、[Reboot FCX] 画面を表示します。
- **19** [Reboot (Online Mode)] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。 接続機器が再起動します。

<制御ロジックのダウンロード手順>

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 FA-M3 エミュレートタスクの起動を行うために、制御ロジックを作成します。制御ロジック例については、「◆制御ロジック例」を参照してください。

[☞]「◆ 制御ロジック例」(55 ページ)

3 [PORT] 横の [UNITT#1] をダブルクリックし、[変数のプロパティ]ダイアログボックスを表示します。

- 4 [名前] に接続するポート名を入力し、[OK] をクリックします。
- 5 [STATION] 横の [UNIT#1] をダブルクリックし、[変数のプロパティ]ダイアログボックスを表示 します。
- 6 [名前] に接続するステーション番号を入力し、[OK] をクリックします。
- 7 [TERMCHAR] 横の [FALSE] をダブルクリックし、[変数のプロパティ]ダイアログボックスを表示します。
- **8**[名前]に「TRUE」を入力し、[OK]をクリックします。
- 9 [CHECKSUM] 横の [FALSE] をダブルクリックし、[変数のプロパティ]ダイアログボックスを表示します。
- **10** [名前] に「FALSE」を入力し、[OK] をクリックします。
- 11 [ビルド] メニューから [プロジェクトの再コンパイル] を選択します。
- 12 プロジェクトツリーウィンドウの [Target Setting] をダブルクリックし、[ターゲット設定] ダイアロ グボックスを表示します。
- **13** [ホスト名 /IP アドレス] に「192.168.1.1」を入力します。
- **14** [OK] をクリックします。
- 15 通信設定を接続機器にダウンロードします。
- 16 接続機器を再起動します。

◆ 制御ロジック例

表示器と接続機器を接続するには制御ロジックが必要です。 以下に制御ロジック例を示します。



3.22 設定例 22

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコンリン	クSIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更			
通信設定				
通信方式	C RS232C	C RS422/485(2線式)	● RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	•		
データ長	0.7	• 8		
パリティ	● なし	○ 偶数 ○ ○	奇数	
ストップビット	● 1	C 2		
フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄	(sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト	0 🔅	(ms)		
─拡張モード──] .	
ロ サムチェック				
▶ 終端文字				
RI / VCC	© RI	C VCC		
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力) 注す デジタル制	にするかVCC(5V電源供給)		
トを使用する場合(ま、VCCを選択し	てください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 1	16台 機器	<u>景を追加</u>		
No 趣碧之	設定			間接機器
	BARE	/-EACTORY ACENUL-7'문	超的-1	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ALLIGIOUS NOLOS A.G.	INCOMP.	*

◆ 機器設定

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	○ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ コントローラモデル	ディジタル指示調節計 💌 UT320 💌
号機 No.	初期設定
	OK(() キャンセル

◆ 注意事項

 マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[拡張モード]の[サムチェック]の チェックを外し、[終端文字]にチェックを付けてください。この設定以外の場合は通信エラーと なります。

■ 接続機器の設定

コンピュータリンクモジュールを下記のように設定します。詳細に関しては接続機器メーカーのマ ニュアルをご参照ください。

◆ 伝送速度設定スイッチ

設定項目	設定
伝送速度	19200

◆ データ形式設定スイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW1	ON	データ長
SW2	OFF	パリティビット
SW3	OFF	-
SW4	OFF	ストップビット
SW5	OFF	チェックサム
SW6	ON	終端文字
SW7	OFF	プロテクト
SW8	OFF	常に OFF

◆ ステーション番号設定スイッチ

設定項目	設定
号機 No.	1 号機
MEMO ・ 接続の終端になるモジ 以外は OFF にします。	ュールのみ終端抵抗スイッチを 4-WIRE に設定します。それ

3.23 設定例 23

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコンリンク SIC) ポート COM1
文字列データモード 「1		
通信設定		
通信方式(CRS232C CRS422/485(2線式) € F	S422/485(4線式)
通信速度	9600	
データ長(7 • 8	
パリティ (○なし ● 偶数 ● 奇数	
ストップビット (• 1 O 2	
フロー制御(こなし ○ ER(DTR/CTS) ○ XON/	XOFF
タイムアウト 🛛	3	
UF54 [2	
送信ウェイト 🏾 🗍	0 :: (ms)	
拡張モード		
🗖 サムチェック		
▶ 終端文字		
RI / VCC (RI CVCC	
RS232Cの場合、9番日 にオスかち選択できます	² ンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は、	・プラッル扱いに2020パイラレーションエニッ VCCを選択してください。	初期設定
機器別設定		
	♪ <u>機器を追加</u>	
11. 1389年之	EALCH	間接機器
		追加
i prot		71200Mi 🔶

◆ 機器設定

💣 個別機器設定	X
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	● M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計
コントローラモデル	UT320 🗾
号機No.	1 🖃
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

◆ 注意事項

- 通信設定の [拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[拡張モード]の[サムチェック]の チェックを外し、[終端文字]にチェックを付けてください。この設定以外の場合は通信エラーと なります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 4 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 5 SET/ENT キーを3 秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

♦ 設定値

設定項目	設定値
P.SL	0: PC link communication
bPS	4: 9600 (bps)
PrI	1: 偶数
StP	1
dLn	8
Adr	1

3.24 設定例 24

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 💌	
データ長 🔿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし ④ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> ሀ</u> トライ 2 🗮	
送信ウェイト 0 🔆 (ms)	
「拡張モード	
□ サムチェック	
▶ 終端文字	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかた遅れできます。デジタル教理S222Cアイバルージャンフェッ	
トを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定	1
接続可能台数 16台 機器を追加	
11、11年2月々 135-12	間接機器
	*

♦ 機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	○ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ コントローラモデル	ディジタル指示調節計 💌 UT350 💌
号機No.	1 初期設定
	 OK(() キャンセル

◆ 注意事項

- 通信設定の [拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[拡張モード]の[サムチェック]の チェックを外し、[終端文字]にチェックを付けてください。この設定以外の場合は通信エラーと なります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 4 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 5 SET/ENT キーを3 秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

♦ 設定値

設定項目	設定値
P.SL	0: PC link communication
bPS	4: 9600 (bps)
PrI	1: 偶数
StP	1
dLn	8
Adr	1

3.25 設定例 25

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ 八〇	プレート COM1 ポート
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2編	式) • RS422/485(4線式)
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 💿 8	
パリティ 🔍 なし 🔍 偶数	○ 奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし © ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🗄	
送信ウェイト 🛛 🚊 (ms)	
- 拡張モード	
□ サムチェック	
▼ 終端文字	
RI/VCC © RI C VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源(にするかち避視できます。デジルル制PS222Cアイ)しょぎょう	共給)
にする場合は、VCCを選択してたさい。	ゴニッ 初期設定
機器別設定	
	間接機器
	ru=7917=7479/mi

♦ 機器設定

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ コントローラモデル	ディジタル指示調節計 💌 UT420 💌
号機 No.	1 三
	 OK(()) キャンセル

◆ 注意事項

- 通信設定の [拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[拡張モード]の[サムチェック]の チェックを外し、[終端文字]にチェックを付けてください。この設定以外の場合は通信エラーと なります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 アップキーまたはダウンキーを数回押して [r485] を表示します。
- 4 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 5 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 6 SET/ENT キーを3 秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

◆ 設定値	
-------	--

設定項目	設定値
PSL	0: PC link communication
bPS	9600
PrI	EVEN
StP	1
dLn	8
Adr	1
rP.t	0: 0 × 10ms

3.26 設定例 26

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS422/485(2線式) @ RS422/485(4線式)	
通信速度 9600 🔽	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 🔿 2	
フロー制御 C なし ⓒ ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
<u> </u>	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
拡張モード	
□ サムチェック	
▶ 終端文字	
RI/VCC CRI CVCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避視できます。デジタル劇(PS222Cアイ) ルージャンコニッ	
トを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定	1
接続可能台数 16台 機器を追加	
しん 排発々 起ウ	間接機器
	近期
	V

♦ 機器設定

💣 個別機器設定		X
PLC1		
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ	
シリーズを変更したサ アドレスを再確認して	◎ M&Cコントローラ 易合は、すでに使用されている てください。	
コントローラタイプ	ディジタル指示調節計	•
コントローラモデル	UT450	•
号機 No.	1	
	初期設定	
	OK(() キャンセル	

◆ 注意事項

- 通信設定の [拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[拡張モード]の[サムチェック]の チェックを外し、[終端文字]にチェックを付けてください。この設定以外の場合は通信エラーと なります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SET/ENT キー、アップキーおよびダウンキーで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 電源を ON にします。

[オペレーティング表示]に移行します。

- **2** [オペレーティング表示]でSET/ENTキーを3秒以上押します。 [オペレーティングパラメータ設定表示]に移行します。
- 3 アップキーまたはダウンキーを数回押して [r485] を表示します。
- 4 SET/ENT キーを数回押して通信設定項目を表示します。
- 5 アップキーまたはダウンキーで設定値を入力し、SET/ENT キーを押します。
- 6 SET/ENT キーを3 秒以上押して[オペレーティング表示]に戻ります。 以上で通信設定は終了です。

◆ 設定値	
-------	--

設定項目	設定値
PSL	0: PC link communication
bPS	9600
PrI	EVEN
StP	1
dLn	8
Adr	1
rP.t	0: 0 × 10ms

3.27 設定例 27

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 変更		
通信設定			
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	
通信速度	9600	-	
データ長	C 7	· 8	
パリティ	○ なし	● 偶数 ● 奇数	
ストップビット	€ 1	C 2	
フロー制御	○ なし		
タイムアウト	3 🔆	(sec)	
リトライ	2 :		
送信ウェイト	0 🔅	(ms)	
「拡張モード」			
▶ 終端文子			
RI / VCC	🖲 RI	C VCC	
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力) ほす。デジタル製F	にするかVCC(5V電源供給) RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合(は、VCCを選択して	でください。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数	16台 機器	<u>最高速加</u>	
No. 機器名	設定		間接機器
👗 1 PLC1		ズ=M&Cコントローラ.コントローラタイプ=UT2000,コ)	

♦ 機器設定

💣 個別機器設定	X		
PLC1			
シリーズ	○ FACTORY ACEシリーズ		
○ M&Cコントローラ シリーズを変更した場合は、すでに使用されている アドレスを再確認してください。			
コントローラタイプ コントローラモデル	UT2000 💌 UT2400 💌		
号機 No.			
	初期設定 OK(Q) キャンセル		

◆ 注意事項

- 通信設定の [拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- 通信設定の[拡張モード]-[サムチェック]は必ずチェックを外してください。
- マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[拡張モード]の[サムチェック]の チェックを外し、[終端文字]にチェックを付けてください。この設定以外の場合は通信エラーと なります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の通信モード選択用ディップスイッチ、通信条件設定用ロータリス イッチおよびステーション番号選択用ロータリスイッチで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 通信モード選択用ディップスイッチを「ON (パソコンリンク通信モード)」にします。

2 通信条件設定用ロータリスイッチを「2」に設定します。

3 ステーション番号選択用ロータリスイッチを「0」に設定します。

3.28 設定例 28

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリ	ンク SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C C RS422/485(2線式)	○ RS422/485(4線式)
通信速度 9600 🔽	
データ長 🔿 7 💿 8	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿	奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし © ER(DTR/CTS) C	XON/XOFF
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🚍	
送信ウェイト 0 🚊 (ms)	
「拡張モード」	
□ サムチェック □	
▶ 終端文字	
RI/VCC © RI O VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル制度5932Cアイソルージョンコニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。	初期設定
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No 推発を 記字	間接機器
	yyr y - 0 12000, <u>1</u> ,

◆ 機器設定

💰 個別機器設定	X
PLC1	
シリーズ	◎ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ	UT2000 💌
コントローラモデル	UT2800 💌
号機No.	1
	初期設定
	OK(() キャンセル

◆ 注意事項

- 通信設定の [拡張モード]-[終端文字]は必ずチェックを付けてください。
- 通信設定の[拡張モード]-[サムチェック]は必ずチェックを外してください。
- マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[拡張モード]の[サムチェック]の チェックを外し、[終端文字]にチェックを付けてください。この設定以外の場合は通信エラーと なります。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の通信モード選択用ディップスイッチ、通信条件設定用ロータリス イッチおよびステーション番号選択用ロータリスイッチで設定します。 詳細は調節計のマニュアルを参照してください。

♦手順

1 通信モード選択用ディップスイッチを「ON (パソコンリンク通信モード)」にします。

2 通信条件設定用ロータリスイッチを「2」に設定します。

3 ステーション番号選択用ロータリスイッチを「0」に設定します。

3.29 設定例 29

■ GP-Pro EX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 横河電機(株)	シリーズ パソコンリ	ンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 📘 🙎	更		
通信設定			
通信方式 · RS2	232C C RS422/485(2線式)	C RS422/485(4線式)	
通信速度 19200	•		
データ長 〇 7	8 8		
パリティ 🕫 なし	○ 偶数	奇数	
ストップビット 💿 1	C 2		
フロー制御 🛛 なし	e er(dtr/cts)	XON/XOFF	
タイムアウト 3	(sec)		
リトライ 2			
送信ウェイト 0			
「拡張モード			
□ サムチェック			
□ 終端文字			
RI / VCC © RI	C VCC		
RS232Cの場合、9番ビンをF	U(入力)にするかVCC(5V電源供給)		
トを使用する場合は、VCCを	「タル要R52320アイシレーションユニッ 」選択してください。	初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	機器を追加		
			間接機器
No. 機篩名			追加
	JDD - X=FACTORY ACEOU-X.#	与1徙No.=1	4

♦ 機器設定

💰 個別機器設定	X
PLC1	
シリーズ	● FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	○ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ コントローラモデル	ディジタル指示調節計 UT320
号機No.	
	OK(() キャンセル

通信設定は、ラダーソフト (WideField3) で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

♦手順

- 1 ラダーソフトを起動します。
- 2 プロジェクトを作成します。
- 3 [プロジェクト]メニューから[プロジェクトの設定]を選択し、[プロジェクトの設定/コンフィ ギュレーション]ウィンドウを表示します。
- 4 [コンフィギュレーション]から[内蔵機能の設定]を選択します。
- 5 [PROGRAMMER/SIO ポートの設定]を以下のように設定します。

設定項目	設定内容
通信モード	19200bps パリティなし
パソコンリンク機能	[使用する]のみチェック を付ける

- 6 プロジェクトと CPU プロパティを接続機器にダウンロードします。
- 7 接続機器を再起動します。

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

🧊 「3 通信設定例」(13 ページ)

4.1 GP-Pro EX の通信設定

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 横河電機(株) シリーズ パソコンリンク SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 💌	
データ長 〇 7 ④ 8	
パリティ 🕫 なし 🔹 🔿 奇数	
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 🔆 (sec)	
リトライ 2 芸	
送信ウェイト 0 💼 (ms)	
✓ 於····································	
RI/VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(人力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
機器別設定	
接続可能台数 16台 <u>機器を追加</u>	
No. 機器名 設定	間接機器 追加
I PLC1 Imp シリーズ=FACTORY ACEシリーズ、号機No.=1	

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択しま す。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を 「0~255」で入力します。

次のページに続きます。
設定項目	設定内容		
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。		
	サムチェックを行うかどうかを設定します。		
サムチェック(拡張モード)	МЕМО		
	マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は [サムチェック] のチェックを外してください。		
	データの終端文字指定を行うかどうかを設定します。		
 終端文字(拡張モード)	МЕМО		
	マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は [終端文字] に チェックを付けてください。		
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に、9番ピンのRI/VCCを切り替えます。 IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要があり ます。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。		

MEMO

・間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「運転中に接続機器を切り替えたい(間接 機器指定)」

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器 を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

💕 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ	◎ FACTORY ACEシリーズ
シリーズを変更した アドレスを再確認し	◎ M&Cコントローラ 場合は、すでに使用されている てください。
コントローラタイプ コントローラモデル	ディジタル指示調節計 UT320 ・
号機 No.	1
	初期設定
	OK(Q) キャンセル

設定項目 設定内容	
シリーズ	接続機器の種類を選択します。
コントローラタイプ	コントローラのタイプを選択します。 [シリーズ]で「M&Cコントローラ」を選択した場合のみ設定できます。
コントローラモデル	コントローラのモデルを選択します。 [シリーズ]で「M&C コントローラ」を選択した場合のみ設定できます。
号機 No.	通信を行う接続機器の局番を「0~32」で入力します。

4.2 オフラインモードの通信設定

MEMO

 オフラインモードへの入り方や操作方法は、保守 / トラブル解決ガイドを参照して ください。

参照:保守/トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。



設定項目	設定内容	
	接続機器と通信する通信方式を選択します。	
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアル を参照してください。	
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。	
データ長	データ長を選択します。	
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。	
ストップビット	ストップビット長を選択します。	
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。	
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(sec)を「1~127」で入力します。	

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。
チェックサム	チェックサムを行うかどうかを設定します。 MEMO マルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は [サムチェック]の チェックを外してください。
データの終端文字指定を行うかどうかを設定します。 経端文字 アルチリンクで GP2000 シリーズを同時に使用する場合は[終端文字]に クを付けてください。	

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
パソコンリンク	\$10		[COM1]	Page 1/1
接続	器名 PL	01		-
	シリーズ 号 継No	FACTORY A	CEシリーズ 1 ▼ ▲	1
	-3 18200.	,	1	
	終了		戻る	2007/04/09 18:57:20

設定項目	設定内容		
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])		
シリーズ	接続機器の種類を表示します。		
号機 No.	通信を行う接続機器の局番を「0~32」で入力します。		

■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
パソコンリンク	\$10		[COM1]	Page 1/1
	RI / VCC RS232Cの場合 かVCC(5V電辺 す。デジタJ ユニットを作 てください。	● RI 5、9番ピンをRI(J 原供給)にするかを レ製RS2320アイソL 使用する場合は、V	VCC (力)にする 選択できま ノーション CCを選択し	
	終了		戻る	2007704701 22:02:01

設定項目	設定内容		
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に、9番ピンのRI/VCCを切り替えます。 IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要がありま す。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。		

MEMO	・ GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT-4*01TM および LT-Rear	
	Module の場合、オフラインモードに [オプション]の設定はありません。	

5 結線図

以下に示す結線図と横河電機(株)が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図	1
-----	---

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	1A	デジタル製 RS-232C 9pin-25pin 変換ケーブル CA3-CBLCBT232-01 + 横河電機㈱製 : プログラミングツール用ケーブル KM11-2N*A	ケーブル長は 15m 以 内にしてください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	1B	自作ケーブル + 横河電機㈱製 : プログラミングツール用ケーブル KM11-2N*A	ケーブル長は 15m 以
	1C	自作ケーブル + 横河電機㈱製 : 表示器接続用ケーブル KM21-2B	内にしてください。

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (9ページ) 1A)



1B)



1C)



結線図2

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	2A 2B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
GP3000 ^{*4} (COM2)	2C 2D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	2E	自作ケーブル	
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	2F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*9} + 自作ケーブル	
	2B	自作ケーブル	
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	2G	自作ケーブル	

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、2A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 - 🦃 🔳 IPC の COM ポートについて (9 ページ)
 - MEMO ・ 終端抵抗は両端の機器に取り付けてください。
 - 表示器と接続機器側ではA極とB極の呼び方が逆になっていますのでご注意ください。
 - PA 機器に SG がある場合は、接続してください。
 - 終端となる接続機器はパソコンリンクモジュールの最終抵抗スイッチを 4-WIRE に 設定してください。
 - ・ 接続ケーブルとして日立電線製 CO-SPEU-SB(A)3P×0.5SQ を推奨します。
 - 総ケーブル長は1000mです。
 - パソコンリンクモジュールの号機 No.は2~32 にしてください。
 - 表示器に接続する PA 機器の号機 No. はすべて異なるように設定してください。同 じ号機 No. の PA 機器が 2 台以上あると、エラーが発生します。
 - 表示器(m台)と PA 機器(n台)の通信設定はすべて同じにしてください。

2A)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



MEMO

PA 機器に SG がある場合は、接続してください。

- PA 機器に SG がない場合でも、表示器と接続機器の SG 接続が必要です。
- 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

2B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



• PA 機器に SG がある場合は、接続してください。

- PA 機器に SG がない場合でも、表示器と接続機器の SG 接続が必要です。
- 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

2C)

1:1 接続の場合





2D)

1:1 接続の場合





2E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

• PA 機器に SG がある場合は、接続してください。

• PA 機器に SG がない場合でも、表示器と接続機器の SG 接続が必要です。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

2F)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



• PA 機器に SG がない場合でも、表示器と接続機器の SG 接続が必要です。

2G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



• PA 機器に SG がない場合でも、表示器と接続機器の SG 接続が必要です。

結線図3

表示機 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	3A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	3B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (9ページ)

3A)





3B)

結線図4

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1)	4A 4B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
		(株) デジタル製オンラインアダプタ	
GP3000 ^{*3} (COM2)	4C	CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
	4D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{*4}	4E	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
	4F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	4G	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	4H	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	4I	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} + 自作ケーブル	
S16000 ° (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	4B	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	4J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長は 200m 以内に してください。
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000(オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	4K	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

⁽²⁷⁾ ■ IPC の COM ポートについて (9 ページ)

- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、4A の結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

MEMO• 表示器と接続機器側では A 極と B 極の呼び方が逆になっていますのでご注意ください。

- PA 機器に SG がある場合は、接続してください。
- 終端となる接続機器はパソコンリンクモジュールの最終抵抗スイッチを 2-WIRE に 設定してください。
- 接続ケーブルとして日立電線製 CO-SPEU-SB(A)3P×0.5SQ を推奨します。
- ・ 総ケーブル長は 1000m (LT-4*01TM、LT-Rear Module は 200m) です。

4A)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



4B)

1:1 接続の場合





4C)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

4D)

1:1 接続の場合





4E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ6を ON にして終端抵抗を 挿入してください。 4F)

1:1 接続の場合





МЕМО	・ 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ6を ON にして終端抵抗を
	挿入してください。

4G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	ON

4H)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



重要
・表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

МЕМО	・ GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。	
------	---------------------------------------	--

4I)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



4J)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

4K)

1:1 接続の場合





結線図 5

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1)	5A 5B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP3000 ^{*3} (COM2)	5C	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
	5D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{*4}	5E	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	5G	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	5Н	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*8} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	51	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} + 自作ケーブル	
	5B	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	5J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長は 200m 以内に してください。
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	5K	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *10 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、5A の結線図を参照してください。

5A)

1:1 接続の場合





5B)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

5C)

1:1 接続の場合





5D)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合


5E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO

 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ6を ON にして終端抵抗を 挿入してください。

5F)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



GP-Pro EX 機器接続マニュアル

挿入してください。

5G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	ON

5H)

1:1 接続の場合





重要	 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。
MEMO	・ GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。

5I)

1:1 接続の場合





5J)

1:1 接続の場合





番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

5K)

1:1 接続の場合





結線図 6

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	6A 6B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 自作ケーブル 	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP3000 ^{*4} (COM2)	6C 6D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP 4106 (COM1)		+ 自作ケーブル	ケーブル長は
GP-4116T (COM1)	6E	自作ケーブル	1000m 以内に してください。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	6F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*9} + 自作ケーブル	
ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	6B	自作ケーブル	クーフル長は 1000m 以内に してください。
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	6G	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、6A の結線図を参照してください。
- - 6A)
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を 挿入してください。

6B)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



МЕМО

 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

6C)

1:1 接続の場合





6D)

1:1 接続の場合





6E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

6F)

1:1 接続の場合





6G)

1:1 接続の場合





結線図 7

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2)	7A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
LT3000 (COM1)	7B	自作ケーブル	
GP3000 ^{*3} (COM2)	7C	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
	7D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ^{*4}	7E 7F	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	7G	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP-4107 (COM1) GP-4*03T ^{*5} (COM2) GP-4203T (COM1)	7H	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP4000 ^{*6} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*7} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	71	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*10} + 自作ケーブル	
S16000 ° (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*9} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	7B	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	7J	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長は 200m 以内に してください。
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	7K	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *10 RS-422端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、7Aの結線図を参照してください。

7A)

1:1 接続の場合





7B)

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

7C)

1:1 接続の場合





7D)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



7E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO ・ 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ6を ON にして終端抵抗を 挿入してください。

7F)

1:1 接続の場合





МЕМО	•	使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ6を ON にして終端抵抗を
		挿入してください。

7G)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	ON

7H)

1:1 接続の場合





重 要	• 衣示器 0.5V 出力(0 番ビン)は Siemens 裂 PROFIDUS コネクタ用电源 C 9。 7	C
	の他の機器の電源には使用できません。	

MEMO ・ GP-4107 の COM では SG と FG が絶縁されています。

7I)

1:1 接続の場合





7J)

1:1 接続の場合





番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	

7K)

1:1 接続の場合





自作ケーブル

結線図8

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	8A 8B	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP3000 ^{*4} (COM2)	8C 8D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	8E	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 ^{*8} (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	8F	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*9} + 自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
	8B	自作ケーブル	
PE-4000B ^{*10} PS5000 ^{*10} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*10}	8G	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

- *5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く

- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、8A の結線図を参照してください。
- - 8A)
 - 1:1 接続の場合





8B)

1:1 接続の場合





8C)

1:1 接続の場合





8D)

1:1 接続の場合





8E)

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

8F)

1:1 接続の場合





8G)

1:1 接続の場合




結線図 9

表示機 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) ET6000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	9A	自作ケーブル + 横河電機㈱製 : 表示器接続用ケーブル KM21-2T	
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	9B	自作ケーブル + 横河電機㈱製:表示器接続用ケーブル KM21-2T	

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

9A)







結線図 10

表示機 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	10A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内に してください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	10B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内に してください。

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{CP} ■ IPC の COM ポートについて (9ページ)

10A)



10B)



結線図 11

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	11A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブルミけ
GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	11B 11C	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	クークル _{長は} 1000m 以内に してください。
	11D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	
GP3000 ^{*4} (COM2)	11E	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
	11F	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	11G	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	11H	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*9} + 自作ケーブル	
ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1)	111	(株) デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
PS6000 (ベーシック ボックス)(COM1/2)	11C	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	11J	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

- *1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

^(⑦) ■ IPC の COM ポートについて (9 ページ)

*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、11A の結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01)を使用する場合、11Bの 結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

MEMO
 終端抵抗は両端の機器に取り付けてください。
 表示器と接続機器側では A 極と B 極の呼び方が逆になっていますのでご注意ください。
 PA 機器に SG がある場合は、接続してください。
 終端となる接続機器はパソコンリンクモジュールの最終抵抗スイッチを 4-WIRE に設定してください。
 接続ケーブルとして日立電線製 CO-SPEU-SB(A)3P×0.5SQ を推奨します。
 総ケーブル長は 1000m です。
 表示器に接続する PA 機器の号機 No. はすべて異なるように設定してください。同じ号機 No. の PA 機器が 2 台以上あると、エラーが発生します。

• 表示器 (m 台) と PA 機器 (n 台) の通信設定はすべて同じにしてください。



11B)



11C)



11D)





11F)







*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。



11I)



11J)



結線図 12

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 ^{*1} (COM1) AGP-3302B (COM2)	12A	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 	
GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 ^{*2} (COM2) LT3000 (COM1) IPC ^{*3}	12B	自作ケーブル (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP3000 ^{*4} (COM2)	12D	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	
	12E	 (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
	12F	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	12G	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
GP4000 ^{*5} (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000 ^{*6} (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	12H	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ^{*9} + 自作ケーブル	
ST6000 ^{*7} (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1)	12I	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 ^{*10} + 自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。
E16000 * (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	12C	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B ^{*11} PS5000 ^{*11} PS6000 (オプションイ ンターフェイス) ^{*11}	12J	自作ケーブル	ケーブル長は 1000m 以内に してください。

- *1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

IPC の COM ポートについて (9ページ)

*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

- *6 SP-5B00 を除く
- *7 ST-6200 を除く
- *8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略し てください。
- *9 RS-422端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)を使用する 場合、12Aの結線図を参照してください。
- *10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、12B の結線図を参照してください。
- *11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽³⁾ ■ IPC の COM ポートについて (9 ページ)

MEMO
 終端抵抗は両端の機器に取り付けてください。
 表示器と接続機器側では A 極と B 極の呼び方が逆になっていますのでご注意ください。
 PA 機器に SG がある場合は、接続してください。
 PA 機器に SG がない場合でも、表示器と接続機器の SG 接続が必要です。
 終端となる接続機器はパソコンリンクモジュールの最終抵抗スイッチを 4-WIRE に設定してください。
 接続ケーブルとして日立電線製 CO-SPEU-SB(A)3P×0.5SQ を推奨します。
 表示器に接続する PA 機器の号機 No. はすべて異なるように設定してください。同じ号機 No. の PA 機器が 2 台以上あると、エラーが発生します。

• 表示器 (m 台) と PA 機器 (n 台) の通信設定はすべて同じにしてください。





12B)





12D)







12F)







*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ1から4をすべて OFF してください。



12I)



12J)



6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範 囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

接続機器のアドレスは以下のダイアログで入力します。



- 1. デバイス デバイスを選択します。
- 2. アドレス アドレスを入力します。
- CPU番号 通信する接続機器の CPU 番号を「1~4」(FACTORY ACE シ リーズ)または「1~2」(UT2800)で入力します。 その他のシリーズは「1」で固定です。
- 4. 参照
 使用できるパラメータのリストが表示されます。
 使用するパラメータをクリックして「選択」を押すと、アドレスが入力されます。
 [参照]は接続機器のシリーズで「M&C コントローラ」を選択している場合に表示されます。
- アドレス表記について

[機器設定]で選択したシリーズによってアドレス表記が異なります。

• CPU 番号が設定できるシリーズの場合:



• CPU 番号が「1」固定のシリーズの場合:



6.1 FACTORY ACE シリーズ (FA-M3)

	はシステ	ムデー	タエリ	アに指定	でき	ます
	12 2 11 1		/ - /			ムッ

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力リレー	$X00201 \sim X71664$	$X00201 \sim X71649$		+1B+ 1 *1*2
出カリレー	$Y00201 \sim Y71664$	$Y00201 \sim Y71649$		+16+ 1 *1
内部リレー	$100001 \sim 165535$	$\rm I00001 \sim \rm I65521$		+16+ 1
共通リレー	$E0001 \sim E4096$	$E0001 \sim E4081$		+16+ 1
特殊リレー	M0001 \sim M9984	M0001 \sim M9969		+16+ 1
リンクリレー	$L00001 \sim L78192$	$L00001 \sim L78177$		+1B+ 1 *3
タイムアップリレー	TU0001 \sim TU3072			
カウントアップリ レー	$CU0001 \sim CU3072$			
タイマ現在値		TP0001 \sim TP3072		
タイマ現在値(カウ ントアップ型)		TI0001 \sim TI3072		
タイマ設定値		${\rm TS0001} \sim {\rm TS3072}$		*2
カウンタ現在値		$\rm CP0001 \sim CP3072$		
カウンタ現在値(カ ウントアップ型)		$CI0001 \sim CI3072$		
カウンタ設定値		$CS0001 \sim CS3072$		*2
データレジスタ		D00001 ~ D65535		B i t 15
コモンレジスタ		B000001 ~ B262144		<u>ві t</u> 15] *4
キャッシュレジスタ		F000001 ~ F524288	ĺ	<u>ві t15</u> *5
共通レジスタ		$\overline{ m R0001} \sim m R4096$		_{в і т} 15
特殊レジスタ		$Z0001 \sim Z1024$		_{в і т} 15
リンクレジスタ		$\rm W00001 \sim W78192$		<u>ві</u> 15] *3
特殊モジュール		$SW0010000 \sim SW7169999$		*2 *6

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
各種情報読み出し		$INF100 \sim INF101$		*2 *7
		INF200 \sim INF214		*2 *7
		INF30010 ~ INF37163		*2*7
	$\begin{array}{c c} \text{INF4100.00} \sim \\ \text{INF4215.15} \end{array} \qquad \text{INF4100} \sim \text{INF4215} \\ \hline \\ $		ՐL / H)	*2*7
		INF500		*7
プログラム情報		PRI00000 \sim PRI99913		*2 *8
ユーザログ読み出し		ULR000000 \sim ULR064128		*2 *9
エラー履歴読み出し		ERH000000 ~ ERH128022		*2 *10

*1 入力リレー(X)と出力リレー(Y)のアドレス入力部は以下のとおりです。

ワードアドレス指定時は、端子番号を16の倍数+1の値で指定してください。

<例>X00201の場合



- *2 書込み不可
- *3 リンクリレー(L)とリンクレジスタ(W)はアドレス入力部の上1桁目の番号はリンク番号を、 下4桁目はアドレスを示します。リンクリレー(L)とリンクレジスタ(W)のワードアドレス指 定時は、アドレスを16の倍数+1の値で指定してください。

<例>リンクリレーのL71024を指定した場合



- *4 パソコンリンクモジュールを使用して接続した場合、B99999 までしか使用できません。
- *5 F3SP71-4N、F3SP76-7N、F3SP71-4S、F3SP76-7Sのみ使用できます。
- *6 特殊モジュールの情報読み出し/書き込み

SW<u>0 01 0003</u>



*7 各種情報読み出し

① CPU モジュール、プログラムの状態読み出し

INF <u>1</u> <u>00</u>

②システム ID, CPU タイプ、エリアサイズ情報読み出し

INF <u>2 00</u>



③実装モジュール名の読み出し



④ CPU モジュールの ERR LED, または ALM LED 点灯要因の読み出し



⑤ CPU モジュールの現在のアラーム情報の消去 (write only)

INF <u>5</u>00

*8 プログラム情報の読み出し

読み出し情報が0の場合

PRI <u>000</u> <u>00</u>

└── 読み出し情報(000:プログラム名、作成日付)

読み出し情報が0以外の場合

*9 ユーザログ読み出し

- *10 エラー履歴読み出し
- ERH <u>000</u> 000

エリー履歴記がいして回 000:最新のエラーデータ 001~128:新しいデータからn番目のエラーデータ MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.2 FCN/FCJ シリーズ

____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
内部リレー	$I00001 \sim I32752^{*1}$	$I00001 \sim I32737$	Ĺ	(<u>+18+</u>] *2
データレジスタ	-	D00001 ~ D32767	<u>[L/H]</u>	B i t 15 *2
コモンレジスタ	-	$B000001 \sim B032767$	ſ	B i t 15] *2

*1 ビット単位で書込み処理を行う場合のみアドレス I32767 までアクセス可能です。

*2 接続機器内のアドレス0にはアクセスできません。

MEMO• 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞ 「表記のルール」

6.3 温度調節計 (UT100 シリーズ)

UT130/UT150/UT152/UT155

レーレー はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
Iリレー	I0001 - I0048	I0001 - I0033		÷16+ 1 *1
D レジスタ		D0001 - D0420		Bit 15 *1,*2

*1 表に示したアドレス範囲内に書込み禁止や使用禁止の領域があります。レジスタの機能と使用方法の詳細は調節器のマニュアルで確認してください。

MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

■ UP150

レーはシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
Iリレー	I0001 - I0054	I0001 - I0049		(÷16+ 1) *1
D レジスタ		D0001 - D0420		Bit 15] *1,*2

*1 表に示したアドレス範囲内に書込み禁止や使用禁止の領域があります。レジスタの機能と使用方法の詳細は調節器のマニュアルで確認してください。

- 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

^{*2} D401から D420のみ調節器のシステムエリアメモリに割り当てられる場合があります。 GP-Pro EX またはオフラインモードでシステムエリアを設定する場合は注意してください。

^{*2} D401 から D420 のみ調節器のシステムエリアメモリに割り当てられる場合があります。 GP-Pro EX またはオフラインモードでシステムエリアを設定する場合は注意してください。

MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

6.4 ディジタル指示調節計

UT320/UT350

____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
Iリレー	I0001 - I0784	I0001 - I0769		÷16+ 1 *1
D レジスタ		D0001 - D1300		B i t 15 *1、*2

*1 表に示したアドレス範囲内に書込み禁止や使用禁止の領域があります。レジスタの機能と使用方法の詳細は調節器のマニュアルで確認してください。

*2 D50から D100のみ調節器のシステムエリアメモリに割り当てられる場合があります。 GP-Pro EX またはオフラインモードでシステムエリアを設定する場合は注意してください。

MEMO
・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

■ UT420/UT450

レーはシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
Iリレー	I0001 - I2048	I0001 - I2033	rt / Hi	<u>+1</u> +1 +1
D レジスタ		D0001 - D1300	<u> </u>	Бі t 15] *1、*2

*1 表に示したアドレス範囲内に書込み禁止や使用禁止の領域があります。レジスタの機能と使用方法の詳細は調節器のマニュアルで確認してください。

- 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②予}「表記のルール」

^{*2} D50 から D100 のみ調節器のシステムエリアメモリに割り当てられる場合があります。 GP-Pro EX またはオフラインモードでシステムエリアを設定する場合は注意してください。

MEMO
・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

6.5 UT2000

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bits	備考
Iリレー	I0001 - I1024	I0001 - I1009		÷16+ 1 *1
D レジスタ		D0001 - D1024		<u>ві</u> t 15 *1

*1 表に示したアドレス範囲内に書込み禁止や使用禁止の領域があります。レジスタの機能と使用方法の詳細は調節器のマニュアルで確認してください。

МЕМО

 調節器で使用できるシステムエリア設定は読込みエリアサイズのみです。読込みエ リアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「愛」「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、データ表示器などのアドレスタイプで「デバイス&アドレス」 を設定している場合に使用します。

7.1 FACTORY ACE シリーズ (FA-M3)

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	1X	0080	
	2X	0180	(モジュールユニット番号×0x40)
	3X	0280	+((モンユールスロット番号- 1)×0x4)+((端子番号- 1)/16) ^{*1}
	4X	0380	
	1Y	0081	
	2Y	0181	(モジュールユニット番号×0x40)
	3Y	0281	+((モンュールスロット番号- 1)×0x4)+((端子番号-1)/16) ^{*1}
	4Y	0381	
	11	0082	
内部リレー	21	0182	(ロードマドレフー1)」(の店
	31	0282	(リートアトレスー 1)÷16 の値
	4I	0382	
	1E	0084	
# 3 U L	2E	0184	
	3E	0284	(リード)ドレスー1)÷10 の値
	4E	0384	
	1M	0083	
特殊リレー	2M	0183	(ロードマドレマー1).1(の店
	3М	0283	(リートノトレスー 1)÷16 の値
	4M	0383	
	1L	0088	
	2L	0188	(リンク番号×0x10000)+((アドレ
	3L	0288	$(3-1)/16)^{*2}$
	4L	0388	

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	1TP	0060	
タイマ現在値	2TP	0160	
	3TP	0260	$\mathcal{Y} = \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F}$
	4TP	0360	
	1TI	006D	
タイマ現在値(カウ	2TI	016D	
ントアップ型)	3TI	026D	$\mathcal{Y} = \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y}$
	4TI	036D	
	1TS	0063	
5 / 马凯内住	2TS	0163	
ダイマ設定値	3TS	0263	
	4TS	0363	
	1CP	0061	
カウンタ現在値	2CP	0161	
	3CP	0261	
	4CP	0361	
	1CI	006E	
カウンタ現在値(カ	2CI	016E	
ウントアップ型)	3CI	026E	
	4CI	036E	
	1CS	0064	
土山、石矶中店	2CS	0164	ר ויצוע ד
カリンダ設定値	3CS	0264	9-7770-1
	4CS	0364	
	1D	0000	
データレジスタ	2D	0100	ロードアドレフ 1
	3D	0200	9-7770-1
	4D	0300	
	1B	0004	
コエンル・ジュク	28	0104	ロードアドレフー 1
コモノレンスダ	3B	0204	<u> </u>
	4B	0304	

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	1F	0006	
キャッシュレジスタ	2F	0106	
*3	3F	0206	$\mathcal{Y} = \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} \mathcal{F} - 1$
	4F	0306	
	1R	0003	
	2R	0103	
共通レンスタ	3R	0203	$\mathcal{Y} = \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y} \mathcal{Y}$
	4R	0303	
特殊レジスタ	1Z	0001	
	2Z	0101	ロードフトレット
	3Z	0201	9-F7 FVX-1
	4Z	0301	
	1W	0002	
リンクレジック	2W	0102	(リンク番号 ×0x10000)+((アドレ
リンクレシスタ	3W	0202	$(7-1)/16)^{*2}$
	4W	0302	
特殊モジュール	1SW	0065	
	2SW	0165	ロードアドレフ
	3SW	0265	ソートノトレム
	4SW	0365	

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード	
	1INF1	0066		
	2INF1	0166	ワードアドレス	
	3INF1	0266	(読み出しのみ)	
	4INF1	0366		
	1INF2	006a		
	2INF2	016a	ワードアドレス	
	3INF2	026a	(読み出しのみ)	
	4INF2	036a		
	1INF3	006b		
	2INF3	016b	ワードアドレス	
各種情報読み出し	3INF3	026b	(読み出しのみ)	
	4INF3	036b		
	1INF4	0005		
	2INF4	0105	ワードアドレス	
	3INF4	0205	(読み出しのみ)	
	4INF4	0305		
	1INF5	006c		
	2INF5	016c	ワードアドレス	
	3INF5	026c	(書き込みのみ)	
	4INF5	036c		
	1PRI	0067		
プログニノ 桂 却	2PRI	0167	ワードアドレス	
ノロクラム情報	3PRI	0267	(読み出しのみ)	
	4PRI	0367		
	1ULR	0068		
ユーザログ読み出し	2ULR	0168	ワードアドレス	
	3ULR	0268	(読み出しのみ)	
	4ULR	0368		
	1ERH	0069		
てつ房庭寺ヶ山!	2ERH	0169	ワードアドレス	
エフー履歴読み出し	3ERH	0269	(読み出しのみ)	
	4ERH	0369		

*1 各名称については「6使用可能デバイス」の*1を参照

*2 各名称については「6使用可能デバイス」の*3を参照

*3 F3SP71-4N、F3SP76-7N、F3SP71-4S、F3SP76-7Sのみ使用できます。

7.2 FCN/FCJ シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	11	0082	
ф. ж .ц.	21	0182	(ロードマドレスール・14の体
内部リレー	31	0282	(ワート)トレスー1)=16 の値
	4I	0382	
	1D	0000	
	2D	0100	ロードマドレス・1の店
テーダ レシスダ	3D	0200	ジートノトレスー I の順
	4D	0300	
コモンレジスタ	1B	0004	
	2B	0104	ロードマドレス・1の店
	3В	0204	シートノトレスー10個
	4B	0304	

7.3 温度調節計 (UT100 シリーズ)

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
Iリレー	Ι	0082	(ワードアドレス- 1)÷16 の値
D レジスタ	D	0000	ワードアドレス-1の値

7.4 ディジタル指示調節計

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
Iリレー	Ι	0082	(ワードアドレス- 1)÷16 の値
D レジスタ	D	0000	ワードアドレス-1の値

7.5 UT2000

■ UT2400

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
Iリレー	Ι	0082	(ワードアドレス- 1)÷16 の値
D レジスタ	D	0000	ワードアドレス-1の値

UT2800

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
Iリレー	11	0082	
	21	0182	(リート)トレスー1) ÷16 の恒
D レジスタ	1D	0000	ロードマドレコートの住
	2D	0100	ワートアトレスー1の恒

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容		
番号	エラー番号		
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])		
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。		
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受 信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。		

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :2[02])」

MEMO	•	受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	•	ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守 / トラブル解決ガイド」の「表
		示器で表示されるエラー」を参照してください。